

## 中川 勲 議員（代表質問）

### 1 観光について

- (1) 観光船の購入を検討されているが、定員・予算・時期は。
- (2) 購入することにより観光船の管理・運営をどこが行うのか。
- (3) ほたるいか海上観光は6週間くらいの期間であるが、残りの長い期間はどうか活用されるのか。
- (4) 美しい富山湾クラブが設立され、これをどう観光に活かしていかれるのか。

### 2 農業について

- (1) 農業が大きく変わろうとしている中、滑川市の農業を今後どのように方向づけるのか。
- (2) 滑川市において農地貸し借りの実績はどうか。
- (3) 6次産業化で農業に夢が持てるというが、取り組みはあるのか。
- (4) 地産地消で農家の活力が出るが、取り組みの状況は。

### 3 公園整備について

- (1) 市内に何カ所あり、全体の面積は。また、市民一人当たりの面積はどれだけか。
- (2) それぞれの公園の手入れや管理は、どうされているのか。
- (3) 花しょうぶまつりが開催されている行田公園には、多くの方が花を観に来られるが、通路の安全面や整備は大丈夫か。
- (4) 海浜公園の当初計画はどのようなものであったか。また、現在取付道路を拡幅整備していただいたが、駐車場の整備も考えていただきたい。

(5) 水はけの悪い公園がある。特に坪川1号公園の整備は考えられないのか。

(6) 高塚地内の保安林の今後の対策は、どうなっているのか。

#### 4 消防防災について

(1) 東部消防組合が設立されて2年が経過したが、その効果は。

(2) 火災発生時にサイレンが鳴らなくなったが、市民の防災意識の高揚のためにも吹鳴が必要と思うが。

(3) 市内には消火栓・防火水槽は何カ所あるのか。また、設置基準はあるのか。1年に何カ所設置する予算があるのか。

(4) 昨年、今年における市内の火災件数、また救急車の出動回数はいくらだけか。

#### 5 総務関係について

(1) 富山県総合防災訓練の日程等は決まったのか。

(2) コンピュータのウイルス対策は万全か。

## 浦田 竹昭 議員（代表質問）

### 1 砂利採取業の規制等について

- ・ 滑川市砂利採取業の規制に関する条例（制定目的、必要性、内容等、詳細について諸点）及び平成28年度重点事業に関する要望の内、砂利採取法に基づく砂利採取計画の認可等に関する事務の権限委譲（重点要望書説明文の内容等の詳細について諸点）について、今、なぜ、どうして、誰が、どのような目的・必要性・根拠で、そしてどうするのか。

### 2 犯罪被害者等の支援について

- (1) 市内の交通事故を含め、刑法犯罪から、DV、セクハラ、パワハラ等の現状実態について
- (2) その被害者の声の現状実態について
- (3) 犯罪被害者等支援条例の制定への検討について

### 3 防犯カメラの設置について

- (1) 市内の防犯カメラの設置状況について
- (2) 今後の防犯カメラの設置予定について
- (3) 中山間地域での設置について

### 4 18歳選挙権について

- (1) 選挙権年齢を18歳以上に引き下げられることに対しての、当市の対応について
- (2) 学校教育の場での、政治教育のあり方について
  - ・ 子どもたちへの、政治的中立と政治知識や判断力、批判力の醸成、政治的・社会的な課題の問題提起と思考について

## 5 農林課長の就任の抱負について

- ・ 農業経営の安定と活性化、農業担い手育成、地産地消の推進、中山間地域の振興と有害鳥獣被害対策、耕作放棄地対策、森林整備等の取り組みについて

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 空き家等対策の推進について

- ・ 空き家対策等の推進に関する特別措置法の施行に伴い、市でも新たな体制がとられた。具体化はこれからだと思うが、基本的な見解を問う。
  - ア 空き家等の総数、保安上危険な空き家の数、所有者等が不明な件数等の現状についてどのように把握しているか。
  - イ 対策計画、協議会の設置が求められると思うが、その予定は。
  - ウ 庁内組織間の情報共有、連携のしくみはできたか。
  - エ 「特定空き家等」への具体的な対応について
    - (ア) 「特定空き家等」の判断はどのようにするのか。
    - (イ) 指導、勧告、命令、代執行が可能となるが、具体的な流れは。
    - (ウ) 所有者が特定できない、所有者に費用の支払い能力がない場合などの対応は。

### 2 農業問題について

- (1) 昨年産米の「ナラシ対策」による「補てん金」が、先週交付されたようだ。全体の金額、交付対象者の生産者全体における割合、交付対象者の全体面積への割合等は市全体でどの程度になるか。
- (2) 農地中間管理機構を通じて、農地の集約化を進めているが、実績はどうか。市内では広い意味での集約化は、かなり進んでいると感じている。同時に、個人（家族）経営が適切に評価、位置付けられるべきではないか。
- (3) 生産調整に関する交付金は数年後に廃止される。生産者、組織は、今後に大きな不安を持っているがどのように考えるか。

### 3 防災対策について

- ・ 日本海地震・津波調査プロジェクトの調査結果の発表が遅れている。情報は得ているか。



## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 子どもたちの学力・体力について

- (1) 新しく学務課長に就任され、今後の滑川市における学校教育に関する抱負を問う。
- (2) スポーツ・健康づくり推進事業の内容は。

### 2 子育て支援の新たな取り組みについて

- (1) 新たな少子化対策の具体策は。
- (2) 3世代同居の推進についてどう考えているのか。

### 3 観光振興について

- (1) 北陸新幹線の開業効果の検証は。
- (2) ほたるいか海上観光の今後の展望は。
- (3) 年間を通じた観光客の誘致について
  - ア スポーツに関する合宿等の誘致は。
  - イ 修学旅行を含めた交流事業は。  
(本年度の小諸市との交流も含む)





## 谷川 伸治 議員（一般質問）

### 1 ほたるいか海上観光の今後の取り組みについて

- (1) 本年度のほたるいか海上観光は、天候不順及び観光船の故障により大変残念な結果となったことを踏まえた総括と来年度の計画（案）について
- (2) ほたるいか海上観光に加え、富山湾の海上観光を今後、どのように進めていくのか。
  - ア 観光船購入の検討は進んでいるのか。
  - イ 富山湾の海上観光には氷見市・射水市・富山市等々との連携が不可欠だと考えるが。

### 2 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みについて

- ・ 本市の地域の特性・実情に応じた地域包括ケアシステム構築について
  - ア 一人暮らし高齢者や高齢者のみの地域別の世帯数は。
  - イ 一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域社会の実現に向け、本市ではどのように取り組んでいくのか。



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 環境について

- (1) 市内の農用地では陸砂利の採取が進んでいるが、市内における陸砂利採取の現状と今後の進め方について
- ア このまま陸砂利の採取が進めば、周辺環境に与える影響があるのではないかと思うが、現状はどうか。
  - イ 将来的に懸念される影響は何か。
  - ウ 次の世代に良好な土地、地下水環境を引き継ぐためにはどのように取り組んでいくのか。少しでも早い条例制定が必要ではないか。
- (2) 危険な空き家に対して行政代執行も可能となる「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立した。今定例会で提案されている強力に進めていくとあるが対応を問う。
- ア 空き家の定義は何か。具体的にどのような状態をいうのか。またどのように把握するのか。市内に空き家と判断されるものは何軒か。
  - イ 危険老朽化空き家と思われる軒数は。
  - ウ 所有者の特定が難しい場合、どのような対応が可能か。
  - エ 特に危険な空き家への対応について、今後必要とされる手続きは何か。
  - オ 既にご近所から苦情が出ている軒数とその対応は。とても厄介な物件もあると聞いている。法律に基づいて協議会を作って適切な判断のもとで進めてほしい。
- (3) ほたるいかミュージアムの石と銘板のその後は。

### 2 教育について

- ・ 視聴覚教育の環境整備を。
  - ア 何年か前に電子黒板の導入があったが、実情はどうか。
  - イ 現在実物投影機・プロジェクター・スクリーン又は、デジタルテレビなど視聴覚教育のための機材配置は、どのようになっているか。
  - ウ 市内の小・中学校に等しく教育環境を整えてはどうか。
  - エ 教育委員会として小・中学校の使い方も違うと思うが、必要性を感じているか。各教室に設置するとあとどれくらいの台数と経費が必要か。
  - オ 教育は待ったなし。すぐ使える、等しく使えるためにぜひ整備をし

ではどうか。

## 高木 悦子 議員（一般質問）

### 1 新しい児童館の「景観」に与える影響を憂う

- (1) 景観法の基本理念や、富山県景観条例の基本方針等に照らした、滑川市における「景観」に関する考え方を問う。
- (2) 商業地には商業地にふさわしい景観があり、住宅地には住宅地にふさわしい景観がある。うるさい音は「騒音」うるさい色は「騒色」といい「騒色公害」が訴訟にもなっている現実について、どのように考えるか。
- (3) 都市計画公園であり、誇るべき景観の行田公園に隣接し、第一種住居地域と第二種住居地域にまたがる新しい児童館の色は、「富山県景観づくり色彩ガイドライン」の商業地域の景観としてさえも「彩度」が逸脱している。感じる人によっては「騒色」以外の何物でもないと考えないか。
- (4) 富山県の「景観アドバイザー派遣制度」を活用して、子どもたちだけでなく、周辺住民はもちろん、行田公園を訪れる市内外の方々からも愛される外観を持った児童館にする考えはないか。

### 2 20年後の滑川市のまちづくりの岐路をどうするのか

- (1) 平成25年度における全国の空き家率は13.5%にのぼり、20年間で空き家は倍増している。滑川市における空き家の現状はどうか。賃貸用・売却用の住宅としての空き家、二次的空き家、これから特定空き家等となる懸念があるその他の空き家別に件数は把握できているか。
- (2) 今年5月26日に空家等対策の推進に関する特別措置法（空家対策法）が施行され、自治体として「防災」「衛生」「景観」など総合的な取り組みが求められている。新たに建設部内に「特命担当」が設けられたが、庁内の具体的な連携体制はどうか。
- (3) 空き家対策を実行するためには、まちづくり課、建設課、公園緑地課、上下水道課など建設部関連だけでなく、市民課、税務課、消防署、総務課、企画政策課、生活環境課などありとあらゆる部署が持っているデータをフル活用しなければならないと考えるが、そのような体制になって

いるか。

- (4) 空家対策法第7条には「協議会」を組織することができるとなっているが、今後、協議会の設置をどう考えているか。
- (5) 空家対策法第4条には市町村の責務が記されているが「努力規定」であり、具体的に総務省と国交省が告示している「空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」にはいくつもの項目が「できる」と例示されている。「できる」ことをどこまでやるかで滑川市の真剣度が問われている。どこまで「やる」のか。
- (6) 現在、都市計画マスタープランを策定中だが、宅地としての面積や形状など質の部分を除いて、単純に戸数を足し算する考え方でいくと、現在の空き家を賃貸、販売、もしくは空き家を取壊して新たな宅地として提供すれば、将来想定される所帯数の推移から見ると、滑川市においてこれ以上の住宅地は必要ないことにならないか。
- (7) 空き家・空き地に新しい世代が入ってくることは、その地域の世代の新陳代謝にもなる。既存の宅地を使い捨てにしないことは、行政コストの抑制にもつながる。都市計画マスタープランと同じぐらいに空き家対策は重要な課題だと考える。まずは基本となる、「空き物件のデータベース化」と「空家等対策計画」作成の考えはどうか。都市計画マスタープランと並行して進めるべきものかと考えるが、そのスケジュールはどうか。
- (8) 「空家等対策計画」と等しく重要なのは「空き家管理条例」の制定と考えるがどうか。
- (9) 近隣の住民の生活環境を犯す「特定空家等」に対しては、固定資産税等の住宅用地特例の対象からの除外や、指導・勧告・命令、さらには代執行などの「ムチ」をしっかりと示すことが大切だと考えるがどうか。
- (10) 空き家を適正に管理され、処分が促されるためには、「特定空家等」になる前の対策が不可欠と考える。空き家の自主的な除去を促すための取り壊し費用補助制度や、貸家等の再利用を促すための改修費用補助制度など「アメ」を設けることも重要と考えるがどうか。
- (11) 新しい宅地開発から、既存の宅地の再利用へとシフトすべきと考えるが、そのためには市内の宅建業者の方々に賃貸・販売意思を示していない空き家所有者へのアプローチを促す施策を設けるべきと考えるがどうか。

- (12) 空き家だけでなく空き地をどう活用するかによってまちづくりは左右されると考える。中滑川駅前の農協会館跡地をどうするのか。基礎自治体に文化の拠点がないことはいかにも恥ずかしいことだと考えるし、市民の皆さんからも「文化ホール」を望む多くの声があり、基金も積み立てられている。1階部分は商業など賑わい施設と医業などの混合エリアとし、2階以上を文化ホールとして整備するなどできないか。





## 水野 達夫 議員（一般質問）

### 1 学校給食における地場産野菜の使用率の今後の目標について

- (1) 学校給食における地場産野菜の使用率が2014年度、初めて5割を超えて53.9%となった。この数字の実現には、あらゆる方々のご協力や市が進めてきた食育や地産地消の推進策が功を奏していると思うが、市の見解はどうか。
- (2) 今後の目標数値はどのくらいを想定しているのか。また、今後の意気込みはどうか。

### 2 学校給食共同調理場の今後のあり方について

- (1) 地場産野菜の使用率の向上には、陰ながら学校給食共同調理場の職員の力も大きいと思っている。しかし、職員の年齢構成を考えると今後、使用率を維持・向上させるためには、人的な力が不足してくると思われるがどうか。
- (2) 富山県内で給食調理場を直営方式で実施しているのは、現在、氷見市と滑川市のみである。氷見市では今年度9月(2学期)より給食調理業務を民間委託する予定である。氷見市が前年度で実施した「学校給食あり方検討委員会」等の組織を設置し、早急に滑川市の方向性を示すべき時期ではないか。

### 3 中山間地における地域資源の活用について

- (1) 中山間地域の一部で荒廃した農地や山林等が見受けられる。自然環境を保全する意味でも早い段階での対策が必要かと思うがどうか。
- (2) 千鳥の通称ドヤマでは、富山平野から魚津・黒部方面までの眺望がきれいに見渡せる。私有地ではあるが、新たな展望スポットとして活用できないか。

- (3) 室山野用水で開拓されたこの地域や東福寺自然環境保全地域等々、ふるさと教育の題材が豊富にある中山間地の地域資源をもっと有効に活用し、子どもたちに伝えていくべきだと思うがどうか。

#### 4 中滑川駅周辺の整備手法について

- ・ 岩手県紫波町「オガールプロジェクト」の取り組みを参考に、公民連携の手法を検討できないか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 地方創生について

- ・ 日本創成会議の提言「高齢者移住」に対する市長の見解は。

### 2 地方版総合戦略の策定について

- (1) 進捗状況について
- (2) 推進組織について
- (3) 基本目標・KPIについて
- (4) PDCAサイクル・検証機関について

### 3 みのお温泉について

- (1) 東部山麓道路の整備促進の展望について
- (2) 最近5年の利用状況と将来展望について
- (3) 温泉施設へのエレベーター設置について

### 4 国民健康保険について

- ・ 一年間保険証を使わなかった被保険者に対しての褒賞制度を検討してはどうか。

### 5 観光拠点の利便性向上について

- ・ レストラン光彩のトイレにハンドドライヤーを設置してはどうか。



## 中島 勲 議員（一般質問）

### 1 子ども子育て支援事業計画における障がい児施策についての当局の見解を問う

- (1) 計画書の文面に障がいの原因となる疾病及び事故の予防とあるが、“疾病”“事故”とは具体的に何なのか。
- (2) どのようなルートで子どもさんを把握し、さらに保護者に対しどのような情報をどのような方法で伝えているのか。
- (3) 保健、医療、福祉、教育等の各種施策とあるが、具体的にどのように展開していくのか。

### 2 滑川版総合戦略の策定について

- (1) 戦略の柱となる政策は何を考えているのか。
- (2) 誰が、いつまでに、どのような方法で作業を推進していくのか。
- (3) 総合計画、都市マスタープランとの関連をどうしていくのか。

### 3 空き家対策として設置された特命担当について当局の見解を問う

- (1) 設置した理由と今後の取り組みはどうなるのか。
- (2) 商工水産課、まちづくり課、生活環境課、それぞれの課との業務の関連はどうなるのか。

### 4 文化財に対する当局の認識度を問う

- (1) 旧田中小学校木造校舎を文化庁が調査したが、文化財としての価値はないのか。

- (2) その折に調査された歴史的価値のある建造物に対する専門家の評価を承知しているか。また、そのような建造物の修繕等に補助金制度を設ける考えはないか。
- (3) 岩城庄之丈展は、どのような考えがあって開催するのか。

## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 今後のほたるいか海上観光について

- (1) 現在、ほたるいか海上観光は1隻運行だが、今後は2隻運行になるか。
- (2) 観光船の保有にあたり、どのような形態で運営するのか。
- (3) 新たに考えている観光船は、大型・中型または何人乗りのものを考えているか。
- (4) 新たに考えている観光船は、新艇または中古のどちらを考えているか。
- (5) ほたるいか海上観光の実施期間を2週間ほど延ばせないか。

### 2 ホタルイカについて

- (1) LED集魚灯について事前に効果を調べたか。
- (2) LED集魚灯について現在までの効果または検証はどうか。
- (3) LED集魚灯についてこれからの効果または検証はどうか。

### 3 防災・避難について

- (1) 海拔表示とともに夜間時に光る避難場所誘導表示を設置してはどうか。
- (2) 甚大な災害時での避難勧告、指示、避難誘導はどのようになるか。

### 4 教育について

- (1) 理数教育・ものづくり教育の支援の充実について、どのような内容か。
- (2) 4歳からの辞書引き学習を推進できないか。

- (3) 平成26年9月議会で小学校の全学年で学級編成が35人以下となるよう国や県に要望したいとの答弁であったが、その後の進捗はどうか。
- (4) 食育について食べ物を残さない工夫はできないか。



# 原 明 議員（一般質問）

## 1 観光振興について

- (1) 北陸新幹線開業に伴う各施設の入館、入場者の状況と経済効果はどれくらいとみているか。
- (2) あいの風とやま鉄道滑川駅に設置されている滑川市観光協会の案内所と観光案内看板設置等の整備について
- (3) ほたるいか海上観光を柱にした通年観光に向けての取り組みについて

## 2 農水産業の振興について

- (1) ニホンジカ生息状況と農産物被害状況について
- (2) 農水産物などの滑川ブランド製品の確立に向けた取り組みと市外、県外へのPRの取り組みについて

## 3 選挙権年齢引下げによる取り組みについて

- ・ 中・高校生への選挙啓発をどのように進めていくのか。



## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 平和行政の推進について

- (1) 安保法制について市長の見解を問う。
- (2) この法案による滑川市が受ける影響は、どのようなものになると認識しているか。
- (3) 児童に向けた平和学習に、子ども図書館を活用してはどうか。また、戦争体験を語り継ぐ活動を行ってはどうか。
- (4) 「原爆写真展」開催に向けての準備はどうなっているか。

### 2 滑川駅の利便性と周辺の整備について

- (1) 通勤・通学時の車両を増やすよう市から強く要請してはどうか。
- (2) 窓口を利用できる時間が限られていたり不便になった事柄の改善を市から要望してはどうか。
- (3) 跨線橋にエレベーターの設置の要請を。
- (4) 駅舎あるいはその付近に売店・コインロッカーを設置してはどうか。
- (5) 駅周辺の歩道の修繕をするべきでないか。

